

2011（平成 23）年度全国安全対策委員長会議 議事録

期日：2010（平成 22）年 11 月 14 日（日） 13：30～16：30

場所：岸記念体育会館 504・505 号室

役員：上平尚（安全対策部事業委員会委員長），片倉善文（安全対策部事業委員会副委員長），秋山洋一（安全対策部技術強化委員会副委員長）

出席者：各加盟団体安全対策委員長又は代理 20 名

オブザーバー：小林英記（SAJ スキー安全会），一戸繁輝（日本スキーパトロール協議会会長），富樫泰一（同事務局長）

SAJ 事務局：丸山周一

司会：秋元洋一

【司会】出席者の紹介

SAJ 教育本部安全対策部事業委員会委員長：上平尚

SAJ 教育本部安全対策部事業委員会副委員長：片倉善文

SAJ 教育本部安全対策部技術強化委員会副委員長：秋山洋一

SAJ スキー安全会：小林英記

日本スキーパトロール協議会：会長・一戸繁輝，事務局長・富樫泰一

SAJ 事務局：丸山周一

1. 開会宣言（片倉善文）

1 年ぶりの再会です。平成 23 年度安全対策委員長会議を始めます。よろしくお願いします。

2. SAJ 報告（上平尚）

本来なら SAJ 担当理事が挨拶を申し上げるところですが，役員未定のため，専門員が代わり挨拶します。11/17 に理事会で技術員が承認され中央研修会が開かれる。

4/8-10 教育本部会議（苗場）に，片倉・上平・富永・吉田部長・山崎副部長が出席し，役員改選までは旧役員が事業計画案に沿って職務を遂行することを確認した。

6/26 第 2 回 FIPS 実行委員会（札幌）で，吉田，上平，坂井，現地スタッフ（谷口常務，須藤事務局）が事業確認をした。

7/12 スキー教程安全編の改訂について，教育本部長・安全対策部長より指示があった。改訂作業に先立ち，3/3-6 に野沢温泉スキー場にて，パトロール隊員・パトロール技術員を使い写真・ビデオ撮影を行った。9/25 に最終校正し，11/17 に発刊準備が整った。発刊が遅れたため，受検者養成講習会に間に合わなかったところもあった。

10/10 教育本部会議があり，新しい各部の委員長及び，平川・斉藤・山崎・吉田・菊池理事が出席し，現状での組織機構案，理事会での検討申し送り事項（機能縮小化，25%財源削減，お金の流れのチェック，検定会，教育会議の動向チェック，安全に関する責任所在，委託事業に関する諸問題等），インタースキー担当者（岸（独），森（英）），北海道のパトロール技術員研修会の道内開催については理事会の決

定にゆだねることを確認した。スキー教程安全編改訂作業について現状報告した。また、安全対策部は対外的な組織（全国スキー場安全対策協議会、日本鋼索交通協会、日本赤十字社、全国安全対策委員長会議、国際スキーパトロール連盟、日本スキー産業振興協会、スキー用品輸入協会等）と密接に関わるので、独自組織であるべきことを主張した。

10/29 全国スキー場安全対策協議会の監査・理事会・総会に出席し、国内スキー等安全基準の改定、決算・予算・事業承認、スキー発祥 100 周年事業を承認した。この会には SAJ より、五十嶋 SAJ 顧問（会長）、平川本部長（理事）、上平（監事）が関わっている。

12/3-5 長野県・志賀高原高天原スキー場にて、パトロール中央研修会を開催する予定。技術員の委嘱が遅れていることについてお詫びする。

【丸山】オフィシャルブックのパトロール技術員名簿は理事会で承認されているが、委嘱を決定することが理事会で決まっていないので通知が遅れている。オフィシャルブックはパトロール中央研修会時に配布できるよう準備する。

3. 加盟団体報告（進行：片倉善文）

各加盟団体の活動報告が提出されているので、その他特に述べたいことのみ報告願います。

◇北海道（安全対策副委員長 池田卯一郎）：

赤十字救急法の出前講座を昨年度は実施したが今年度は実施しない。養成講習 2 日間×2 回＝計 4 日間行っている。スキーパトロール受検 PR パンプを道内のスクールに配布、道技術員にヘルメット着用の励行。道連では 4/2-9 の FIPS を全面的に協力し、パト競技会に 5－6 チーム出したい。各地域で PR お願いたい。ルスツリゾートは通常 3 月末に営業を終了するが、FIPS に合わせて営業し、イズラゲレンデで開催する。

◇青森県（安全対策委員長 木村進純）：

スキー事故の訴訟増・訴訟額の増加に備え、スキースクールインストラクター対象に事故初動対応の講習を行い好評だった。今年はパトロール受検予定者 2 名。準指導員・指導員・元アルペン選手にも受検を呼びかける。

◇宮城県（安全対策部長 照井敏勝）：

JSPA 総会を鳴子温泉で開催し盛況だったのでお礼を述べる。昨年のパト技術競技大会で岐阜や福島の強豪を抑えて優勝できた。今年も参加したい。パトロールの山岳救助訓練などの研修会を青森県スキー連盟の協力で実施した。

◇山形県（傷害対策部長 鈴木恵太）

パト受検希望者は蔵王から 1 名、研修会参加希望者は無、近場で検定会・研修会を開催してもらいたい。検定会・研修会開催について将来的な展望を示してもらいたい。

【片倉】今年度は検定会・研修会・競技会をすべて FIPS 開催会場で行う予定だったが、どうしても無理があるので本州 1 会場（岐阜）を残した。次年度からはもとの形に戻す予定。

◇福島県（パトロール技術員 遠藤秀明）：

フリースタイル国際大会が度々開催されるため、月に 1 回以上は、消防隊と共同で、同じ用具と技術を使い救助訓練を行っている。Dr.ヘリを用いた救助訓練も行う。

◇茨城県（安全対策部長 澤畠 ）：

今年度より安対部長をつとめる。パトロールの高齢化が進んでいるので、魅力あるパトロールの PR に努め、受検者を増やしたい。今年度は昨年のリベンジ 1 名の予定、全面的に支援する。ヘルメット着用の推奨をすすめていく。

◇栃木県（安全対策部長 新井和夫）：

報告書の通り例年通り活動を行った。

◇埼玉県（安全対策部長 杉田宏恵）：

例年通り、パトロール養成、準指導員養成、パトロールの県連事業への派遣を行った。パトロール資格取得後は群馬県スキー場で研鑽している。スキー安全会の小林さんに苗場の事故のビデオ（訴訟中）を見せてもらい研修を行った。

◇東京都（安全対策委員長 保坂淳司）：

パトロール養成、準指導員養成、スキルアップ講習会（10 月室内、3 月雪上）を、パト有資格者に限らず興味のある人・受検者を対象に行っている。460 加盟団体の安全対策講習会受講を 3 年に一度義務づけている。今年は先日 100 団体 120 名の講習を、4 テーマ（現場のドクター・保険取り扱い、傷害調査、ヘルメット着用の推奨、AED を用いた CPR 講習会）で講習を行った。従来は「安全の手引き」を冊子で出していたが、今年は紙 1 枚で作ったら、冊子で出せとの要望があり、B6 判 4000 部の印刷を行うことになった。準指導員・指導員研修会で配布する予定。

◇神奈川県（安全対策委員長 和田均）：

少なからず県連行事で事故が発生しているので、各種事業の開会式・閉会式でスキー安全について啓蒙活動をする。AED の業者を呼び、各社製品のメリット、正しい使用法、記憶システムについて説明してもらった。FIPS には 2 チーム参加したい。

◇新潟県（安全対策部長 高橋徳治）：

今日と来週と再来週の指導員研修会で、地元消防の協力のもと、レッスン中の事故対応初動訓練を兼ねて、AED 訓練を行う。

◇長野県（安全対策委員長 田村一司）：

部長代理で田村が出席した。SAJ 公パトは 11 名、県パトは 28 名が合格した。日帰りでやっていた県パト研修会を泊まりにしたら倍の参加者があり、パト同士の横のつながりができて良いとのこと、今後も泊まりでやりたい。

◇愛知県（安全対策部長 小椋健司代理 加藤昭光）：

指導員研修会で雪上にて救急法講習会を行う。パト受検者が昨年度 0 名、今年は 2 名の予定。茶臼山スキー場入込減少でパトロールの要請が無いのは問題。

◇福井県（安全対策部長 扇浦）：

指導員・準指導員・パトロール養成講習会・研修会に講師派遣、各行事に救急要員を派遣。指導員研修会で指導員が応急処置できるよう訓練する。山岳訓練中に腰椎圧迫骨折事故があり、ヘリ救助要請し、訓練即実践となった。

◇富山県（安全対策副部長 道下太樹）：

今年は天候悪化により防災ヘリ救助訓練中止。

◇石川県（安全対策委員長 丸七茂樹）：

昨年パト競技大会でご迷惑をおかけしたのでお詫びする。今年も 1 チームは出したい。研修会（岐阜平

湯温泉)が近いので参加呼びかけ。ドクターパトロールによるけが人への対処法実施予定。消防防災航空隊講習会の実施。

◇静岡県(教育本部副本部長・安全対策委員長 飯田明弘)

指導員研修会でドクターパトロールが講演を行った。

昨年度公パト1名合格した。お世話になった方々にお礼を述べる。

◇滋賀県(安全対策副部長 秋山幸廣)：

公パト20名を対象に日赤更新講習を実施した。教育部・競技部からパト派遣要請があり派遣した。AED講習、ブルーシート搬送訓練を行った。

◇鳥取県(安全対策委員長代理 伊沢正純)：

消防と協力し、AED・バックボードを用いた救助訓練を行っているが、今回は雪の中に腰まで埋まった状態での脊柱固定法について訓練した。直後の指導員研修会時に頸椎骨折事故があり、早速訓練の成果を生かす機会があり、後遺症もなく無事救助できた。今後も訓練を広めたい。FIPSを観たい人はどうしたらよいか？

【秋元】後ほどお答えする。

◇広島県(安全対策委員 高)：

広島・岡山・山口3県合同でパトロール研修会を開催しているが、参加者が集まらず1県開催になっている。県認定パトロールの研修会参加率5%。公パト2名受検予定。

4 日本スキーパトロール協議会報告(会長：一戸茂輝)

パトロール新規合格者43名の新規加入があった。宮城県鳴子温泉で総会を開催し、宮本忠五郎先生にも大変喜んで頂いた。照井さんの計らいで雀踊りや、ゴルフ、ハイキングを楽しむことができた。来年は、40周年記念大会を東京で開催予定。

○スキー安全会からの報告(SAJスキー補償制度担当 小林 英記)

どうしてこんなに対人衝突事故が増えたか？スキー事故の重大化・傷害の長期化・慰謝料・休業損害の増大が進み、保険制度の維持が難しくなってきた。現在担当している裁判事案4件を紹介する。

◇SAJ技選事故：賠償額4440万円。◇指導員の右を滑っていたボーダーが左へ急ターンし衝突した事故。請求額767万円。地裁で和解勧告。8割は覚悟。11月に終息か。◇リフト支柱ホール事故：地裁から東京高裁へ。470万円の請求。スキー場の工作物責任が問われる可能性が高い。◇マスターズ事故：群馬・丸山スキー場でマスターズ選手が横に並んでいた女性ボーダー4人の一人に衝突し、ヘリ搬送されたが動脈破裂でスキーヤーが死亡。女性は顎の骨折し、高額な賠償金を請求しているため、弁護士が見つからない。

【新井】SAJ事故は保険会社との交渉でこじれて訴訟になったのか？

【小林】保険会社が出し渋ったからこじれたのではなく、選手が継続的に対応しなかったことが原因。

【新井】丸沼の事故は、けがをした人が亡くなった遺族を訴えたのか？

【小林】遺族は対応できないので弁護士が対応している。

5 協議事項(議長：片倉善文)

【丸七】研修会会期を土日2日間に変更できないか。

【片倉】数年前に2日間にしたが、日赤救急員資格継続のための更新講習に対応するため3日間に戻した。

【田村】安全対策委員長・部長の肩書きについて

【片倉】加盟団体組織によって、部長・委員長の呼び名が異なる。

(1) FIPSについて(上平)

FIPS 視察団を一般・日赤・スキー場・JSPA等を対象に募集する。宿泊料金はFIPS 特別料金を設定する。多くの参加を希望する。スキーの安全啓蒙活動やスキー用具用品等の安全対策を進めるためには、パトロールの果たす役割が大きい。パトロールはスキー安全のリーダーシップを担うピステサービスマンになってもらいたい。そのためにはユニフォームの統一も必要だろう。パトロールは事故の未然防止のために、安全に関する知識を高めることも必要である。FIPS の歓迎会と競技会の懇親会、FIPS フェアウエルパーティーと研修会2の懇親会を合同開催し、世界のパトロールと懇談できるよう企画した。FIPSはそのいい機会なので多く参加してもらいたい。

(2) 用具・用品について(上平)

「安全へのシュプール」改訂にあたり、新タイトルを「日本スキー教程安全編」とした。岩谷さん、平沢さんにも執筆してもらい、用品・用具に関する最新情報を盛り込み、付録のDVDも活用し各地の研修会等で活用してもらいたい。スキー用品専門店にも置いてもらいたい。

(3) その他

【片倉】パトロールユニフォーム統一について

【上平】赤を基調としたらいいのでは

【一戸】カラーとグラウンドデザインを決め発表すべき

【新井】以前デサントから提案された物は高価すぎてスキー場で採用できなかった

【上平】メーカーにとらわれず作らせては

【新井】ミズノに作らせたら品質が良くなかった

【上平】パトロールが業務で使うので生地が丈夫でないといけない。色見本は「安全編」を参考に

【片倉】パトロール・カラーとパトロール・マークを統一したらどうか

【田村】SAJ オフィシャルとの関係は？

【上平】各スキー場のパトロール業務はSAJ 事業ではないので無関係

【片倉】公認パトロール以外も着るのでユニフォーム統一についてSAJ が仕切ることができない

【杉田】現在技術員が着ているウェアがモデルチェンジされた場合、旧モデルをパトロールユニフォームとして採用したい場合、同一生地・価格で提供可能か？

【上平】スキー場でパトロール活動に従事する者のユニフォームとして使用してもらいたい。新安全編では締め具の調節問題、AHA ガイドライン 2010 の記載をした。

【小林】FIPS のメインテーマは？

【上平】次回の実行委員会で決める

【小林】スキー事故は雪が消えてから訴えられる状況が続き、保険会社は困っている。アメリカでは「対

人衝突事故における調査票」フォームを統一しているそうなので、日本もそれに習って欲しい。

【上平】FIPS 開催前に問い合わせをする。雪上車両の事故対応については次回改訂時に載せたい。

【田村】技術員のウェアの注文は？

【上平】今年は作らない

【田村】安全編はいつ手に入るか？

【丸山】加盟団体に申込書を送っているのでそれで注文して欲しい

【丸七】今年新たに技術員になった人のユニフォームはどうしたらいいか？

【片倉】誰かに譲ってもらうしかない

【一戸】毎年買わなければならないオフィシャルブックの値段を上げないで欲しい

【木村】パトロール技術競技大会は FIPS 参加国の皆さんにも見てもらえるのか？今年の競技会の運営について、インスペクションの時間に、ポールセットが終わってもなく、スタッフがだれもなく、インスペクションできなかったのを改善して欲しい。旗門員の配置計画等も明確にして欲しい。

【上平】次回は改善したい

【田村】韓国の FIPS で田村・富永でボートを牽いた。今回も是非可能にしてもらいたい。

【秋元】そのつもりでいた

【片倉】今大会では、室内競技のステージのこと、タイムスケジュールのことご迷惑をかけた。今後改善したい。

【池田】トップを目指すチームだけではなく、参加を目的とするチームがあってもいいのでは？次回の大会には是非たくさんのチームに参加してもらいたい。ルスツのパンフを持ち帰って参加を呼びかけてもらいたい。

【加藤】スノーボードでパトロールをしているスキー場はあるか？スノーボードパトロール検定は？

【片倉】JSBA で認定制度がある

【上平】公認スキーパトロールがスノーボードで巡回しているところはある

【保坂】第 40 回 JSPA 総会を、2011 年 9 月 10 日（土）・11 日（日）、場所は中央区晴海のホテルマリナーズコート東京（〒104-0053 東京都中央区晴海 4-7-28）で開催予定。たくさんの参加をお願いしたい。

【片倉】議長を降ります

6 閉会のことば（上平尚）

長時間の審議に感謝する。本来なら理事が出席し意見を聞くべきところ様々な事情でかなわず失礼した。中央研修会でも今日の会議の結果を伝えていく。